

題材名 私が見つけた物語 ～絵の中に入り込んで～

内容のまとめり 第1学年「作品や美術文化などの鑑賞」 (「B鑑賞」(I)ア(ア), [共通事項](I)ア, イ)

〈題材の概要〉

「B鑑賞」に関しては、オンライン授業の際のYouTubeでの授業と「A表現」で制作した作品の相互鑑賞で扱っている。感じたことだけでなく根拠を基に印象を述べることを指導しているが、根拠となる[共通事項]についての学習が不十分だと感じる。

そのため、今回の題材では、物語を想像することで作品の細部を観察し、その中から[共通事項]の内容に気づかせ、身に付けさせることができると考える。

今回扱う作品ノーマン・ロックウェルの『近所に新しく来た子どもたち』という作品は、色彩も鮮やかで何気ない風景を描いたように見えるが、よく見ると登場人物の肌の色や、向き合った子供たちの姿勢や表情から多様な解釈を引き出すことができる。そのため、作品を細部まで見て様々な想像を広げることができる題材である。

〈関連する学習指導要領の内容〉

- 「B鑑賞」(I)鑑賞の活動を通して、次のとおり鑑賞に関する資質・能力を育成する。
 - ア 美術作品などの見方や感じ方を深める活動を通して、鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - (ア)造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。
- [共通事項](I)「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解すること。
 - イ 造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解すること。

1 題材の目標

- 「知識・技能」
 - ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解する。
 - ・造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。
- 「思考力、判断力、表現力等」に関する題材の目標
 - ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げる。
- 「学びに向かう力。人間性等」に関する題材の目標
 - ・主体的に美術作品の見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとする。

2 題材の評価規準

	「知識・技能」	「思考・判断・表現」	「主体的に学習に取り組む態度」
知	<ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。 ・造形的な特徴などを基に全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 鑑 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。 ・根拠を基に作品を感じ取ったり、感じ取ったことどうしの相違点や共通点に気づいたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 態鑑 ・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく作品鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

3 本事業

- (1) 題材 作品から自分なりの物語を感じ取ろう
- (2) ねらい 作品を細かく観察して造形的な要素を見つけ、それを基に対話する活動を通して、他者の考えに触れるとともに、複数の見方や異なる見方の共通点を探り自身の見方や感じ方を深めることができる。
- (3) 本時における「問い」の工夫
- ・描かれている人物や風景、構図などからどのような場面を描いているのか想像して物語を考えることで、細部まで観察し造形的な視点につなげる。
 - ・「どうしてそう思ったのか」ではなく、「どこからそう思ったのか」という発問をすることで、学習者が感じ取った印象の根拠となる造形的な要素を探すことに意識を向かせるようにする。
 - ・ワークシートの作品の感想に、根拠となる部分に一本下線、そこからどう思うのかという部分に波下線を記入させることで、自分の思考を振り返ることができる。

学習内容	時	指導及指導上の留意点	評価・備考
1, 既習事項の確認と本時のめあてを確認する。		○既習事項を確認するためにオンライン授業の時のYouTubeを見た後、本時のめあてを確認させる。	プロジェクター
めあて：絵の中でどんなことが起きているのか考え、人物や構図などに焦点をあてて、絵の物語を想像しよう。			
2, 本時の活動を確認する。		○鑑賞の時間における基本的なルールの確認をする ・静かに1分間見る ・大きな声で発言する ・意見をしっかり聞く ・好きに見ても良い。全体の感じ、細かいところ、どこに目が行くかも、それぞれ違うと思うので、自分の気になることを大切に。	鑑賞資料 (教科書)
3, 何が描かれているのか発表し合う。		○何が描かれているのかを問いかけ、内容を共有させる	
絵の中でみつけたこと、気づいたこと、考えたこと、疑問など何でもいいので話していきましょう。			
4, どのようなシーンなのか、描かれた瞬間の物語を想像しグループで意見をまとめる。		・登場人物や、周囲に描かれているものなどに注目させながら意見を促す。 ・印象や場面についての意見が出たときは必要に応じて「どこからそう思ったのか」と根拠を問い返し、造形的な視点を持たせながら進める。 ○登場人物が誰に何を言っているのか、周囲の人たちの心情や会話を考えさせる。 ○モチーフや表現方法から導き出される情報から逸脱しないように、「絵のどの部分からそう思ったのか」という根拠を考えられるように話し合いの場を作る。 ○各グループで考えた物語を発表させ、自分の意見と比較しながら聞かせる。	態鑑 ワークシート 活動の様子 知鑑 発言の内容
5, 作者が、なぜこの瞬間を切り取ったのかを考え、根拠を基に物語を想像し、鑑賞について感じたことや発見したことをまとめる。		○グループで話し合った考えも参考にしながら、作品の主題を想像し物語をまとめさせる。 ○根拠となる部分に一本下線、そこからどう思うのかという部分に波下線を記入させ、自分の思考を振り返らせる。	知鑑 ワークシート
期待される振り返り： ・主題について根拠（〔共通事項〕）をもって考えることができる。 ・作品の印象から作品内容を説明できる。			
		○本時の作品の鑑賞を通して、絵の見方について感じたことや発見したことをまとめさせる。	

1年 組 番 名前

作品名： _____ 作者： _____

書くときに気をつけること
☆どこからそう思ったのか？見えたことを手がかりに
☆できるだけ詳しく丁寧に
☆さらに、そこからどう思うのか

絵の中でみつけたこと、気づいたこと、考えたこと、疑問など書き出してみよう。

自分の考え	他者の考え

人物や構図など描かれているものをもとに物語を想像しよう。

「どこからそう思ったか」に一本下線 [_____] ・「そこからどう思ったか」に波下線 [_____] を引く。

作品を鑑賞する中で、感じたこと、発見したことをまとめよう。
